

目 次

はじめに

第Ⅰ部 生活を把握すること：調査の目的と設計

第1章	生活分析と地域調査	3
1	社会保障・社会福祉と生活問題 …… 3	
	貧困問題の捉え方 格差の否定 貧困・格差の量的把握	
2	制度の枠を超えた対象把握 …… 10	
	社会問題と社会福祉の対象 高齢者福祉分野にみる本来の対象と制度 対象	
3	本書で使用するデータ：港区におけるひとり暮らし高齢者調査 …… 13	
第2章	地域調査の設計	20
1	調査の内容と対象 …… 20	
	問題の所在の明確化 調査対象の設定と地域調査	
2	調査票の設計 …… 30	

第Ⅱ部 実態を正確に把握する：調査の基本と方法

第3章	量的調査① データ解析の実際	41
1	データのかたち：データ型 …… 41	
2	データをまとめる：データの要約(要約統計量) …… 42	
3	使用するデータの要約：標本の記述統計量 …… 44	
4	データの対象者：サンプルデータ(標本) …… 48	
5	質と質のデータ関係：グループの割合を比較 …… 51	
6	量と量のデータ関係：連続データの関係 …… 58	
7	質と量のデータ関係：グループごとの連続データの比較 …… 64	

8 まとめ …… 72

第4章 量的調査② 多変量解析(1)：変数間の関係式(モデル式) — 74

▶意識調査の関係性の調査：モデル式の作成

- 1 複数間のデータの関係：相関係数から線型回帰へ …… 74
- 2 複数間のデータの関係：線型回帰 …… 77
- 3 複数間のデータの関係：ロジスティック回帰 …… 85
- 4 各独立変数と従属変数との関係 …… 91

第5章 量的調査③ 多変量解析(2)：変数間の関係性(グループ化) — 94

▶意識調査の関係性の調査：関係性の視覚化

- 1 カテゴリー間の関係性を距離で示す：コレスポンデンス分析 …… 94
- 2 意識調査など変数間の共通要素を作成：因子分析 …… 98
- 3 共通するグループの作成：クラスタ分析 …… 106
- 4 クラスタ結果の比較 …… 110

第6章 質的調査の設計と方法 ————— 114

- 1 個別事例を全体の中に位置づける手法 …… 114
- 2 事例調査の具体的手順 …… 116
 - 一次調査から調査対象を類型化する 二次調査の内容と手順
- 3 事例調査の記述 …… 125

第Ⅲ部 データを活用する：分析から政策形成へ

第7章 生活分析から政策形成へ ————— 143

- 1 問題の量と質 …… 143
 - 因子得点に基づいた生活の類型化 生活類型ごとの具体的特徴 生
活歴ということ 生活を類型化する方法について
- 2 調査で把握された事実から政策形成へ …… 161
- 3 社会福祉協議会・民間団体と調査 …… 165
 - 社会福祉協議会と調査 民間団体と調査

第8章 生活に迫る調査を————— 194

- 1 生活分析は政策形成の基礎——制度対象外を把握する …… 194
- 2 軽視されている低所得高齢者問題
——養護老人ホーム・軽費老人ホーム入所者調査から …… 195
- 3 宮本常一の「生活誌」——語りたいことを引き出す …… 197
- 4 「ニーズの萎縮」——生活に迫る調査を …… 200

【巻末資料】

- 1 港区ひとり暮らし高齢者の生活に関するアンケート調査 [2011(平成23)年6月]
- 2 港区ひとり暮らし高齢者面接調査(二次調査)

索 引 …… 217